

## 【テーマ】

○フィンガーペインティングで絵の具に触れる。

## 【テーマの設定理由】

○製作などで絵の具を楽しむ子どもの姿を見て水で薄めずに、そのままの絵の具にどんな反応を示すのか。

## 【活動スケジュール】

○好きな色を選び、机の上で指や手でフィンガーペインティングをする。

## 【活動のために準備した素材や道具、環境設定】

○絵の具、画用紙、ビニール袋、製作シート、事前に汚れてもよい衣服の用意(保護者)のお願い。

## 【活動内容】

○絵の具に興味を持ち、指や手のひらを使って触ってみる。

## 【活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり】

○机の上にビニール袋が敷いてあることに気づき、指や手のひらで触り、ビニール袋の音や素材に触れてみる。その後、保育士に絵の具を垂らしてもらおうと指で触り「つめたい」「色が指についた」など気づいたことを声に出してみる。指でなでて絵の具を伸ばしたり手のひらを使って伸ばしたりして楽しむ。違う色を使ってみたいと保育士に伝える。手のひらで色が混ざり違う色になったことに気づき、保育士に伝える。手型のように手のひらをビニールに押し当てたり、両手を擦り合わせて「ベタベタする」と言ってみたりして気づいたことを伝える姿が多く見られた。その後、白の画用紙を押し当てて画用紙に絵の具がどのように付くのか見てみる。絵の具に水を入れているわけではないので上手く付かないがなぜ付かないのか気づきを次回で考えながら水を垂らしてフィンガーペインティングをもう一度行いたいと思う。

## 【振り返り】

○普段の製作の時と変わらずに少人数ずつ行えばよかったのにみんなにフィンガーペインティングを楽しんでもらいたい思いが強く、落ち着いて行うことができなかった。環境を整えることに工夫が必要だったと感じる。暑さで室内で行ったが遊びの場所と同じ空間だったので落ち着かず子どもの声が聞き取れないことがあった。事前に保護者に汚れてもいい洋服で登園してもらうことを言葉かけしていたこともあり、子どもたちが絵の具がついても気にすることなく行うことができた。絵の具をすぐに出せるようにカップに入れておくことや三原色(あか、あお、みどり)のみを使うことなど細かいところまで配慮が必要だったと感じている。絵の具遊び後に手を洗うバケツの用意をしたり、机を拭くタオルを用意しておけばよかったと反省している。フィンガーペインティングを楽しんでいたこともあり、黒を選んだ子どもから「あかは黒に弱くて黒は強い」と声に出している姿も見られたので思いを受け止めて次回は環境の工夫に気を付けながらフィンガーペインティングをもう一度行いたいと思います。

